

ハートバンド主催「犯罪被害者週間全国大会 2018」参事官挨拶

御紹介にあずかりました、警察庁犯罪被害者等施策担当参事官の赤羽と申します。「犯罪被害者週間全国大会2018」の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

「ハートバンド」の御関係者の皆様、そして、本日御列席の皆様におかれましては、犯罪の被害に遭われた方々のために日頃から熱心な御活動をされていることに、心から敬意を表（ひょう）したいと思います。

「ハートバンド」は、発足して14年目を迎えられたとお聞きしております。また、この全国大会は、今回で16回目を数えるとお聞きしております。

この間、全国の犯罪被害者団体の皆様方が、それぞれの活動を尊重し合いながら、連携して取組を続けてこられたことに対して、改めて深く敬意を表（ひょう）したいと思います。

本年は、第3次犯罪被害者等基本計画の3年目にあたります。

第1次・第2次基本計画に引き続き、第3次基本計画においても、5つの重点課題のうちの一つとして、国民の理解の増進と配慮・協力の確保が掲げられているところです。本大会は、犯罪被害者週間に合わせて、犯罪被害に遭われた方々の置かれた状況などへの理解や配慮等を一層促進しようとするものであり、私ども政府の取組と軌を一にする大変意義深いものであると思います。

第3次基本計画は、平成32年度末までの5年間を計画期間としており、これまでに様々な施策の進展が図られているところではありますが、犯罪被害に遭われた方々のニーズに沿ったきめ細やかで途切れることのない支援の実施については、依然として様々な課題が残っていると認識しております。引き続き、関係府省庁、地方公共団体、そして、民間の被害者支援団体の皆様等と緊密に連携しつつ、犯罪被害者等施策の推進を図ってまいりたいと思います。

今日の大会を契機として、犯罪の被害に遭われた方々やその御家族・御遺族の置かれた状況などに関する理解がより一層促進されるとともに、ハートバンドのネットワークがますます強固なものとなり、皆様の御活動がより発展されることを御祈念申し上げ、私の御挨拶とさせていただきます。